



## 7年目を迎えて(、、未知の世界へ) 外科からのご挨拶とご報告

私たち外科のスタッフは大阪市立大学医学部付属病院第2外科から派遣され日々の診療にあたっています。私事ですが、私は当院に着任するまで21年間大学病院をはじめ大阪のいろいろな関連病院をまわり、一つの病院に続けて勤務した最長は5年間でした。大学医局からの人事異動でしたが、この間に一所で地域医療をしたいと思うようになり、当時の木下博明前教授（当院名誉顧問、理事）と末広茂文教授のお計らいをいただいて2009年4月に当院外科に着任致しました。着任してから地域で頼られる外科を目指して努め、これまで**6年間に1146件の手術**を行わせていただきました。

昨年、初めて一所で6年目を迎えることができ、少し大げさかも知れませんが、この1年間は私にとってまさに未知の世界への突入であり、そのおかげでいろいろ見えてくることも多くありました。着任当初に進行癌で手術を行った患者様と、一般に癌の治癒と考えられている術後5年目を一緒に迎えることができたこと、良性疾患でも長い経過の間には、非常に稀ですがフォローを要することがあること、など数年で離れてしまうと分からなかったことを経験しました。

また、長く続けることができ、地域連携の開業医の先生方から徐々に多くのご紹介をいただけるようになったこと、当科で手術させていただいた患者様のご家族や、お勧めいただいて来院された方を手術させていただく機会が増えたことは、重積を実感しながらも外科医にとって非常に喜びです。

これらすべては、外科スタッフのほか、院内他部署のスタッフ、そして地域連携の先生方のご支援ご助力をいただいたおかげと深く感謝しております。

これまでご指導いただいた第2外科の諸先生方の後ろ姿から学んだ“熱くなければ外科医じゃない”が、私の身体にしみ込んでもう28年目になりますが、まだまだ熱を失っていません。熱を失った時がメスをおく時とありますが、それまではここ白庭病院で根を張った外科診療を続けていきたいと考えています。

これからも当科を受診されるみなさまに全力で診療にあたりたいと思います。

地域連携の先生方には引き続き厳しくご指導ご鞭撻下さいますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。

平成27年4月

外科部長 久保田太輔